

荻本孝久／論文リスト

■2004年度

<研究論文Ⅰ>

落合努、山本俊雄、服部秀人、荻本孝久：高密度微動観測を用いた相模平野の表層地盤振動特性のゾーニングに関する研究；地域安全学会論文集、pp21-26、2003年11月

<研究論文Ⅱ>

荻本孝久：免震建物の減衰；日本建築学会・建築物の減衰シンポジウム講演集、2004年月

齊藤幸司、大関千恵、山本俊雄、荻本孝久：阪神・淡路大震災の復旧・復興プロセスの分析；耐震研究の地震防災対策への反映シンポジウム、2004年3月

<口頭発表>

田中江児、松澤共良、山本俊雄、荻本孝久：ボリングデータと高密度微動観測による足柄平野北部の表層地盤振動特性の検討—その1ボリングデータベース化と推定地質断面の検討—；日本建築学会2003年大会学術講演梗概集、pp279-280、2003年9月

松澤共良、田中江児、松澤共良、山本俊雄、荻本孝久：ボリングデータと高密度微動観測による足柄平野北部の表層地盤振動特性の検討—その2高密度微動観測と断面図を用いた妥当性の評価—；日本建築学会2003年大会学術講演梗概集、pp281-282、2003年9月

大関千恵、荻本孝久、山本俊雄：自治体の防災施策に関する基礎調査—都道府県及び人口20万人程度以上の市区を対象としたアンケート—；日本建築学会2003年大会学術講演梗概集、pp437-438、2003年9月

荻本孝久、精木紀男、マニエル・ナハロ、ハビエル・ルイス：2003年メキシコ・コリマ地震(M7.6)によるコリマ市の建物被害と地盤振動に関する研究—その1被害集中地区における常時微動—；日本建築学会2003年大会学術講演梗概集、pp283-284、2003年9月

服部秀人、小林清、荻本孝久、山本俊雄、菊地敏男、奥田暁、トランス・コスモス、大沼万係、岩楯徹広、島 坦：常時微動から推定される長野盆地の表層厚分布-H/Vスペクトル比による表層厚の推定；土木学会第58回年次学術講演会概要集、pp569-570、2003年9月

荻本孝久、大関千恵、斎藤孝司、村上大和、山本俊雄：阪神・淡路大震災の復旧・復興プロセスの分析；2003年度地域安全学会梗概集、pp73-76、2003年11月

大関千恵、荻本孝久、山本俊雄：自治体の防災対策と復旧・復興にかかわるアンケート調査—都道府県及び人口20万人程度以上の都市を対象として—；2003年度地域安全学会梗概集、pp81-84、2003年11月

人と地域の防災戦略小委員会代表・荻本孝久：地震防災戦略の考え方；2003年度地域安全学会梗概集、2003年11月

山本俊雄、松澤共良、服部秀人、山田惣一郎、荏本孝久：信濃川河口周辺における表層地盤の振動特性の検討；日本地震工学会大会 2003 梗概集、pp53-54、2003 年 11 月

服部秀人、松澤共良、山本俊雄、荏本孝久、岩楯徹広：長野盆地及び周辺の表層地盤振動特性の検討；日本地震工学会大会 2003 梗概集、pp54-55、2003 年 11 月

服部秀人、小林 清、宮下泰士、朝日好彦、有賀裕子、山崎 孝、荏本孝久、山本俊雄、菊地敏男、大沼万孫、岩楯徹広、島 坦：善光寺地震（1847）におけるお寺の被害に着目した常時微動観測；土木学会中部支部研究発表会講演概要集、pp. 1-2、2004 年 3 月

服部秀人、小林 清、山崎 孝、宮下泰士、朝日好彦、有賀裕子、荏本孝久、山本俊雄、菊地敏男、大沼万孫、岩楯徹広、島 坦：長野盆地における常時微動の時間変動に関する考察；土木学会中部支部研究発表会講演概要集、pp. 3-4、2004 年 3 月

齊藤幸司、大関千恵、荏本孝久、山本俊雄：阪神・淡路大震災の復旧・復興過程に関する時系列分析に関する研究；2004 年度地域安全学会梗概集、pp91-94、2003 年 5 月

大関千恵、荏本孝久、伊村則子、近藤伸也：大都市の企業・ボランティア団体と自主防災組織の防災への取組み；2004 年度地域安全学会梗概集、pp39-42、2003 年 5 月

山本俊雄、松澤共良、荏本孝久：地盤関連情報のデータベース化とその活用に関する研究；2003 年度地域安全学会梗概集、pp57-60、2004 年 5 月